

職員からのメッセージ



E 検察事務官（出身庁：岡山地検）

ひとこと

今年もミュージカルを見に行きます！！



【現在の職務内容】

現在、私が所属している企画調査課は、職員の研修を担当したり、広島高等検察庁で利用している各種システムの運用・管理を行ったり、行政文書の開示請求の対応を行ったり、図書を扱ったり、その内容は幅広く、検察庁の何でも屋といったところでしょうか。私は、課長補佐として、各担当者が作成した書類を確認したり、各担当者の相談に乗ったり、少しでも担当者がスムーズに仕事ができるよう他部署や他官庁との調整を行ったりする一方で、自身も行政文書の担当をしています。

【出身庁のオススメポイント】

出身庁の岡山地検では、採用1年目の職員一人一人に1年間、先輩職員がメンターとなって、仕事の悩み等を相談できる制度があります。定期的な面談等を通じて、採用当初の不安が解消できた、些細なことも相談できてよかったと職員からも好評です。また、野球部などの部活や、職員有志でフットサルをしたり、キャンプに行ったりするなど、アットホームな雰囲気もあります。

【メッセージ】

私は、法学部出身でもなく、今ほどドラマで検察庁が取り上げられることもなかったため、検察庁がどういう仕事をしているところなのかよく知りませんでした。

けれど、職場見学の際、対応していただいた職員の方がいろいろ教えてくださり、この職場で働いてみたいと思うようになりました。

法律の知識がなくて不安に思っているとしても、検察庁は研修制度が充実していますので、心配する必要はないと思います。少しでも気になったら、是非、各地方検察庁のホームページを覗いてみてください。